

様式第 14 号 非常警報設備（放送設備・非常ベル・自動式サイレン）の概要表記載要領

【共通項目】①～③

- ① 概要表の表題 ・概要表の表題は、該当する設備を選択する。なお、2種類以上の非常警報設備を併用するときは、種類ごとに概要表を作成する。
- ② 使用状況 ・該当するものを選択する。
- ③ 警報方式 ・該当する方式を選択する。

【放送設備のみ記入】④・⑤

- ④ 増幅器 ・増幅器の製造会社名、型式番号（日本消防検定協会認定評価品）、電源（AC、DC別に）、消費電力及び出力（定格、最大）を記入する。
- ⑤ 操作部 ・操作部又は遠隔操作器について、設置場所（階・室名等）及び制御区分（実装/容量）を記入する。
・一般放送や有線放送などの遮断機構の有無を選択する。

【共通項目】⑥

- ⑥ 起動装置 ・該当するものを選択する。

【放送設備のみ記入】⑦

- ⑦ スピーカー ・配線方法について、該当するものを選択する。
・各スピーカーの個数及び合計個数を記入する。
・L級、M級、S級の各級スピーカーごとに型名、個数、定格入力、音圧感度及び設置方法（埋込、露出別に個数）を記入する。

【非常ベル・自動式サイレンに記入】⑧

- ⑧ ベル・自動式サイレン ・直径について、最小のもの大きさを記入する。（非常ベルのみ）
・個数、設置方法（埋込、露出別に個数）、音圧感度、定格（AC、DC別に）及び型式番号（日本消防検定協会認定評価品）を記入し、種別を選択する。

【共通項目】⑨・⑩

- ⑨ 配線 ・該当する回路の施工方式を選択する。
- ⑩ 非常電源 ・該当する設備を選択する。
・非常電源専用受電設備を選択した場合、電圧を記入する。
・蓄電池設備を選択した場合、電圧及び容量を記入し、該当する充電方式及び使用別を選択する。

【放送設備のみ記入】⑪・⑫

- ⑪ タイマー ・自動火災報知設備の感知器作動放送から火災断定放送に自動的に切り替えるタイマー設定時間を記入する。
- ⑫ 関連装置 ・該当するものを選択し入する。

【共通項目】⑬・⑭

- ⑬ 工事者区分 ・工事区別に工事会社名及び連絡先を記入する。
- ⑭ その他 ・耐火電線等に接続部が生じる場合、該当する工法名を記入する。詳細については4.(2)⑨による。
・放送設備の場合、感知器作動放送、火災放送、非火災放送のメッセージ内容を別紙に記入し添付する。

① 放送設備
非常警報設備 非常ベル
自動式サイレン

様式第14号

②使用状況	専用設備・共用設備			③警報方式		一斉・ 区分				
④増幅器	製造会社名	型式番号	電源		消費電力	出力				
	〇〇〇株式会社	〇〇~〇〇	AC 100 V		288 W	定格 100 W (最大 200 W)				
⑤操作部	操作部			遠隔操作器			遮断機構			
	設置場所	制御区分	設置場所	制御区分	有・無					
⑥起動装置	押しボタン・ 自動火災報知設備 ・検知器・非常電話・インターホン・その他()									
⑦スピーカー	配線方法		合計個数		L 級スピーカー					
	2線式	ホーン型 個	コーン型 20 個	その他 個	計 20 個	型名	個数	定格入力	音圧感度	設置方法
	3線式					〇〇~〇	ホーン型 個	5 W	92 dB	埋込12個
							コーン型 20 個			露出8個
							その他 個			
	M 級スピーカー				S 級スピーカー					
	型名	個数	定格入力	音圧感度	設置方法	型名	個数	定格入力	音圧感度	設置方法
	ホーン型 個		W	dB	埋込 個	ホーン型 個		W	dB	埋込 個
	コーン型 個		W	dB	露出 個	コーン型 個		W	dB	露出 個
	その他 個		W	dB		その他 個		W	dB	
⑧自動式サイレン	直径	個数	設置方法		音圧感度	定格				
	mm	個	埋込 個	露出 個	dB	AC	V	mA		
	型式番号		機器の種類	一体型・複合装置		DC	V	mA		
⑨配置	施工方法					使用電線		太さ		
	電源回路	金属管工事	(埋込・露出)			600V2種 ビニル絶縁配線		1.6 mm		
	ケーブル工事	(埋込・露出)					mm			
	その他()	(埋込・露出)					mm			
	警報回路	金属管工事	(埋込・露出)			600V2種 ビニル絶縁配線		1.2 mm		
	ケーブル工事	(埋込・露出)					mm			
	その他()	(埋込・露出)					mm			
⑩非常電源	非常電源専用受電設備 単相・三相・AC V				⑪タイマー		3 分 00 秒			
	蓄電池設備	DC 24 V	1 AH	充電方式	トリクル	浮動	使用別	専用 ・共用		
⑫関連装置	自火報 ・ガス漏れ警報・非常電話・その他()									
⑬工事区分	電源及び配線	〇〇〇株式会社				TEL 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇				
	機器取付	△△△株式会社				TEL △△△(△△△)△△△△				
⑭その他	耐熱電線 ・・・ テープ巻式単心分岐接続									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

非常警報設備 放送設備
非常ベル
① 自動式サイレン の概要表

様式第14号

②使用状況	専用設備・共用設備				③警報方式	一斉・区分					
増幅器	製造会社名	型式番号		電源		消費電力		出力			
				AC V		W		定格 W	(最大 W)		
操作部	操作部			遠隔操作器			遮断機構				
	設置場所	制御区分	/	設置場所	制御区分	/	有・無				
⑥起動装置	押しボタン・自動火災報知設備・検知器・非常電話・インターホン・その他()										
スピーカー	配線方法		合計個数		L級スピーカー						
	2線式	3線式	ホーン型	個	型名	個	数	定格入力	音圧感度	設置方法	
			コーン型	個		個		W	dB	埋込 個	
			その他	個	計	個		W	dB	露出 個	
							W	dB			
M級スピーカー					S級スピーカー						
型名	個	数	定格入力	音圧感度	設置方法	型名	個	数	定格入力	音圧感度	設置方法
ホーン型	個		W	dB	埋込 個	ホーン型	個		W	dB	埋込 個
コーン型	個		W	dB	露出 個	コーン型	個		W	dB	埋込 個
その他	個		W	dB		その他	個		W	dB	露出 個
⑧自動式サイレン	直径	個	数	設置方法	音圧感度	定 格					
	mm		3 個	埋込 個	92 dB	AC	V	mA			
	型式番号			露出 3 個		DC	24 V	0.24 mA			
⑨配 置	施 工 方 法					使用電線		太 さ			
	電源回路	金属管工事	(埋込・露出)			600V2種 ビニル絶縁配線	1.6	mm			
		ケーブル工事	(埋込・露出)					mm			
		その他()	(埋込・露出)			mm					
警報回路	金属管工事	(埋込・露出)			600V2種 ビニル絶縁配線 (耐熱配線)	1.2	mm				
	ケーブル工事	(埋込・露出)					mm				
	その他()	(埋込・露出)			mm						
⑩非常電源	非常電源専用受電設備 单相・三相・AC				V	タイマー		分 秒			
	蓄電池設備	DC	6 V	0.3 AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用			
関連装置	自火報・ガス漏れ警報・非常電話・その他()										
⑬工事区分	電源及び配線	〇〇〇株式会社				TEL 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇					
	機器取付	△△△株式会社				TEL △△△(△△△)△△△△					
⑭その他	耐熱電線・・・テープ巻式単心分岐接続										

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。